

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月1日

事業所名 放課後等デイサービス幸樹

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		車椅子と自立歩行児童の遊び場を分けている	
	2 職員の配置数は適切である	○		入浴・各部屋に職員配置できるようにしている。シフトを決める際利用児童の人数確認している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内は車椅子でも移動できるようになっている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日児童の気になる点支援方法についてミーティングで話している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			集計結果報告ホームページで公表し意見があった物には、職員で話し合う。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページに公表します。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		相談支援員が付いている児童は担当者会議などで評価していただいている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		他事業所の研修に参加し報告書で伝える。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		ニーズ整理表で本人・保護者の思いを聞いている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメント行い数枚のアセス表を作成個人ファイルしている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援計画の内容で児童の前の様子や今の状況を毎日ミーティング。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している		○	毎日ではない。土曜・祝日など時間に余裕のある時工夫している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○	イベント・レクなど決め実行している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動と集団活動を個別に合わせて支援計画作成し毎日ミーティングだいたい確認している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		シフト表ありその日の利用児童の活動内容書いて、報告し入浴職員等決めている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	気付いた点などについて話しているが毎日必ずではない。報告ノートは毎日書いている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日の支援記録をつけている。同じ職員が書くのではなく。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1度必ず行っている。場合によっては、モニタリング行なっている。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		○	児童個人に合わせている。保護者からの意見も聞いています。		

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者が参加している。報告行い報告書作成している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		毎月の行事予定表をもらっている。学校とも連絡し送迎の変更確認行こなっている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケアが必要な児童を現在受け入れていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	希望があれば行っている。各職員・保護者・関係機関より。	希望があれば行っている。各職員・保護者・関係機関より。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		はい。担当者会議を行うケースもあり、児童のデイでの様子や内容を書面でだしています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		子供部会に参加し、話し合いや相談させてもらっています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	全体ではないが、少人数では年に1度か2度あります。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		参加させて頂いています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に気になる事についてお話させて頂いています。保護者からも。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	必要時行っている。		
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にはお話しさせて頂いています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		その都度保護者から相談あれば対応させて頂いています。また職員全体に報告している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		父母の会・保護者会していない。また保護者からの希望もなかったの。今後検討
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		対応マニュアルあり。都度職員で共通理解。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			ホームページで
	35	個人情報に十分注意している	○		ホームページに活動内容など写真を載せる際顔が映らないようにしている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		文字・連絡帳で伝わりにくい場合電話や直接会いお話しさせて頂いている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		行事に招待行っていない。今後祭りや、バーベキューで検討してみる。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			マニュアルは用意していて職員は1通り目を通してしている。防犯マニュアルに関して、しっかりとした訓練が必要。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			半年に1度程度、遊びの中に取り入れ行っているが本格的にするべきである。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待についての話しを見にした際は職員間で話し合っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			同意書あり説明・確認・了解を得ている。支援計画に記載はしていない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在アレルギー児童がいない。指示書は頂くことになっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットをファイルし保管いつでも職員が見れるようにしている